

令和7年度松山東高校通信制入学式式辞

本日、御来賓の皆様と保護者の皆様に、多数御出席いただき、令和7年度愛媛県立松山東高等学校通信制課程の入学式及び開講式を挙行できますことは、本校にとって、大きな喜びでございます。

ただ今、入学を許可いたしました新入生の皆さん、御入学おめでとうでございます。皆さんをお迎えすることができ、心からうれしく思います。皆さんの心の中では、通信制での生活がどのようなものになるのか、期待と不安が入り混じっていることと思います。

先輩たちもそのように期待と不安を持って入学しました。そして今、この通教生活の中で、仲間たちや先生方と心を通わせ、支え合いながら、自分の可能性に向かって歩みを進めています。

「ひとりじゃないんだ、がんばろう。」本校通信制の合言葉です。今から約60年前、33歳の通教生だった大原和寿さんが、レポートやスクーリング、仕事との両立で大変な自分への励まし、級友への励まし、心からの思いを、通教の歌の歌詞として応募され、見事採用された、そして、もう60年もの間、この言葉は、本校生を励ましています。皆さんは決して一人ではありません。通教の仲間がいます。先生方や温かく見守ってくださる御家族がいます。うまくいかない日も、先が見えずくじけそうになることもあるでしょう。でも、悩みながらも頑張っている自分を認め、周りにいる人も同じような思いをしているのだと気付いて、励まし合ってほしい、と思います。

現代社会では、世界を、人々を、分断させるかのような動きが加速し、国際社会でも、そして、日本でも、自分以外のものを強い言葉で批判する、自分と違う考えの者を排除する、それがまるで強いことであるかのような風潮が強まっているように思います。どのような領域でも、学校生活でも、きっと意見の食い違いはあるでしょう。しかし、皆さんには、意見の異なる人と一緒に、皆が納得する答えを見つける、その努力ができる人になってほしい、そう願っています。

また、今年は、阪神・淡路大震災から30年、終戦から80年の節目の年です。命を守ることの大切さ、生きることの喜びと感謝を胸に、健康に留意して、学校や家での生活を送ってください。

既に御案内しているとおり、松山東高校通信制は、今年度末をもって本課程を終了し、来年4月からはフレキシブルスクール北条清新高校の通信制に移ります。これまで、本校の生徒は、北条清新というネーミングや、新しい校章の制作にも取り組んでくれました。本日御入学の皆さんは、来年、北条清新高校の開校の場におられることと思います。本校の終了と新校の立ち上げの両方に携われる経験を楽しんでほしいと思います。また、新校に関するアイデアを、先生方と一緒に考えていってください。来年の新校開校を楽しみにしています。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうでございます。これまでお子様を支えてこられました皆様に敬意を表し、本日の御入学を心からお喜び申し上げます。私たちは、お子様が、目標を実現するたくましさや、他者を思いやる豊かな人間性を身に付け、社会へと羽ばたいていけるよう、力を尽くしてまいります。本校の教育活動に御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新入生の皆さん、皆さん一人一人が、新しい友人、よい仲間や先生方との出会いに恵まれ、豊かに成長されることを期待して、式辞といたします。

令和7年4月13日

愛媛県立松山東高等学校長 沖田浩史